

水産経済新聞

THE SUISAN - KEIZAI

2019年(令和元年)

10

3 (木)
Thursday

発行所 水産経済新聞社 〒106-0032 東京都港区六本木6丁目8番19号 電話 03-3404-6531 (代) FAX 03-3404-0863

ワイズグローバルビジョン

新たに小型マグロ船に納入

小型の海水淡水化装置

ワイズグローバルビジョン(株)が製作販売している小型海水淡水化装置(造水機)「MYZシリーズ」の漁船への普及が進んでいる。このほど沖縄県の小型マグロ漁船・第8吉丸(19ト、JF那覇市沿岸漁協所属)が吉強次船主)にも納入した。

第8吉丸は冷凍設備搭載の小型漁船で、6月末までのソデイカ漁で今シーズン最高の25トを水揚げ。9月11日からマグロ操業に出港、同装置の活

用を始めた。一航海は1・5か月から2か月。苦労するのが飲み水や野菜・食器洗い、洗濯、漁具の洗浄などに使う水の確保。これまでは一航海に必要な200〜300リットの飲料水として180本のペットボトル(一本2リットル)と、本来はマグロを収納する船内タンクに水道水を入れて出港、用途によつては海水を使うなどで対応した。飲料水用だけでも費用がかさむ。



小型造水装置を導入した「第8吉丸」

の小型造水装置の評判を聞いて、ドック中に同装

置を導入。「コンパクトだし、据え付けも半日で済んだ。大変だった水が必要なる時に必要な量を確保できるようになったのがいちばん助かる。費用も安かった」と喜ぶとともに「これからは漁に集中できる」と安堵ぶし

ていた。同社にとつてはソデイ

カ、マグロ、キンメダイなどの小型船への納入が進んでいて、本格販売から2年足らずで10隻目の納入となった。このほかにも問い合わせがきているという。大型の遠洋マグロはえ縄漁船への納入が決まったり商談中の案件もあり、大型漁船への納入も進み出した。

川満直樹営業部シニアマネージャーは「沿岸、沖合で操業の中小型漁船からの引き合いが多いが、大型漁船からの話も増えてきた。水の心配がなく漁に専念できるようお役に立ちたい」と話している。

▽問い合わせ先・ワイズグローバルビジョン(株) 沖縄本社 沖縄県那覇市勝連南風原5192-147、☎098-923-14302 FAX 098-923-11872